

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

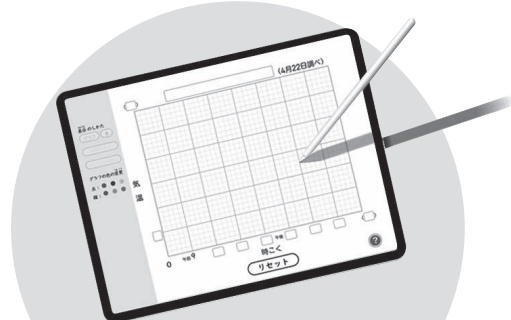
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-145	小学校	算数科	算数	4年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 420 算数 421	わくわく 算数4上 わくわく 算数4下		

1 編修の基本方針

私たちが目指したのは、子どもたちが「主体的・対話的で深い算数の学び」を通して、将来の予測が困難といわれる未来の社会を生き抜いていく力を身につけることです。そのため、「1人1台端末を有効に活用」しながら、自身や友だちとの対話による深い学びや、個別最適な学びが実現できるようにしています。さらにそれらを通して、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなど)で課題とされる「学習意欲面の向上」にも繋げています。



子どもたちが未来を生き抜いていく
基礎となる資質・能力を培う



1人1台端末を有効活用した
新時代の学習スタイルを構築する

1 生活していく上で、
基礎・基本となる数学的な知識・
技能が習得できる

2 筋道を立てて考える能力を育て、
ものごとを合理的に処理する
思考力・判断力・表現力等が
育成できる

3 新しいものごとを理解し
創造する能力を育て、
学びに向かう力・人間性等が
涵養できる

1 問題解決や基礎・基本の定着など、
さまざまな場面でICTを利活用して
学ぶことができる

2 リアルとデジタルのよさをいかし、
協働的な学びと個別最適な学び
を実現することができる

3 家庭学習などの自学の場面で、
自律的に学習を進めることが
できる

数学的な
見方・考え方

「数学的な見方・考え方を働かせる」ことを
軸として展開しています。

QRコンテンツ

学習に効果的なコンテンツを各紙面の
QRコードからご利用いただけます。

*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



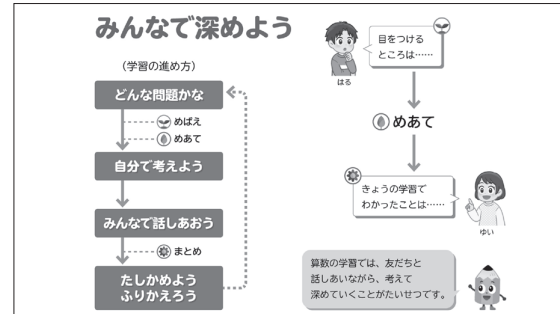
「主体的・対話的で深い算数の学び」を実現する

① 児童の問いから始まる学びの入口 ～『めばえ』から『めあて』、そして『まとめ』へ

● 児童が主体となって学べるようにしています

児童自らの問いや気づきを『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出す授業展開ができるよう構成しています。

- 🌱 **めばえ** … 『めあて』に繋がる児童の問いや気づき
- 🔥 **めあて** … 児童から引き出した本時のねらい
- 🌸 **まとめ** … 本時で学習したことのまとめ



>>> Up.4『算数の学習の進め方』

② 数学的な見方・考え方を軸とした学習展開 ～ 対話的な学びで深めたいポイントの見える化

● 数学的な見方・考え方を強調して示しています

問題把握から解決までのプロセスで児童が働かせる数学的な見方・考え方を例示するとともに、マーカーを付して強調しています。学びあひだりで深めたいポイントを見える化し、対話的な学びが充実するようにしています。

● 学びの繋がりを重視しています

巻頭『算数で使いたい考えの進め方』では、前学年の学習における数学的な見方・考え方を整理し、ふり返ることができるようにしています。

また、巻末『学びをつなげよう』では、これまでに学習した内容をふり返るとともに、この本で学ぶこととの繋がりを知ることができます。

>>> Up.6『算数の学習の進め方』

③ 活用・探究に向かう学びの出口 ～ たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう

● 学んだことをふり返し、いかしていけるようにしています

児童自らが単元全体の学習をふり返し、それを活用したり、深めたりする活動を通して、主体的に学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけることができるようにしています。

📋 たしかめよう

知識・技能と思考力・判断力・表現力等に関する自己評価と学び直し

🔄 ふりかえろう

学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけるための単元全体のふり返し

🎯 やってみよう

『ふりかえろう』での省察をいかし、学びをさらに深める活動

>>> Up.82-83『学びのまとめ』(単元の出口)

未来を生き抜く基礎となる力を培い、 新時代の学習スタイルを構築する

① 生活をしていく上で基礎・基本となる数学的な知識・技能が習得できる。

●既習事項を活用して新たな知識・技能の習得を図ります

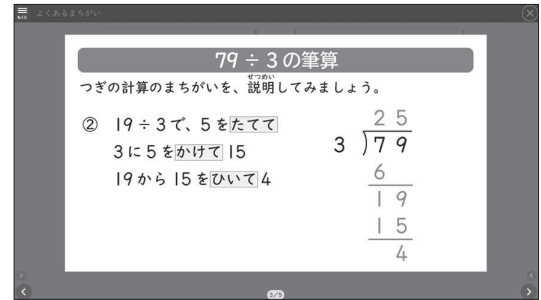
各単元には『とびらページ』を設け、既習事項や身のまわりの事柄から新しい学習へ入っていきけるようにしています。また、ほぼすべての単元にレディネス・チェックとしてご利用いただけるQRコンテンツ（巻末『じゅんび』の問題）を用意しています。

●QRコンテンツでつまづきを解消します

全国学力・学習状況調査等での結果や現場の先生方のお声を踏まえ、児童がつまづきやすいとされる内容にはQRコンテンツを配置して、確かな理解が図れるようにしています。

●QRコンテンツで自学をサポートします

『練習』や『ふく習』などの既習事項の定着を図るコーナーには、問題演習ができるQRコンテンツを用意し、ヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるようにしています。また、主たる問題(■マークの問題)のすべてで解説動画が視聴できるようにし、自学をサポートします。



>>> Up.44『よくあるまちがいを』QRコンテンツ



指導計画の中で反復による定着が必要な単元には『練習』ページを設定しています。また、年間を通して基礎・基本の定着が図れるように、学期の途中と期末に『ふく習』ページを設定しています。



② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる。

●数学的な見方・考え方を明確化し、筋道を立てて考える能力を育みます

各単元の『とびらページ』や『じゅんび』で既習事項の定着を図るとともに、これまでに学んだことを踏まえて児童自らが数学的な見方・考え方を働かせ、解決の見通しを立てたり、筋道を立てて解決の方法を考えたりすることができるように構成しています。

学習内容の系統の中に数学的な見方・考え方を位置づけ、発展的・統合的に考えることができるようにしています。



小数も整数と同じように、0から9までの数字で表せるんだね。

>>> Up.89(小数のしくみ)



はる

●数学的活動をより豊かにする特設単元を設け、思考力・判断力・表現力等を一層育みます

図や表を使って考えたり、説明したりする数学的活動を主とした特設単元を系統的に位置づけ、協働的な学びの活性化と思考力等の育成をより一層図れるようにしています。

昼食で食べたい果物調べ(人)

町	果物	みかん	バナナ	合計
東町		17		25
西町				23
合計		30	18	

みかんを選んだ30人のうち、東町の人が17人だから、西町の人は……



エマ

東町の人25人のうち、みかんを選んだ人が17人だから、バナナを選んだ人は……



かず

>>> Up.69『見方・考え方を深めよう』

③ 新しいものごとを理解し創造する能力を育て、学びに向かう力・人間性等が涵養できる。

●「やってみたい」という児童の意欲を支援します

児童の問いから学びが始まるようにするとともに、単元の出口では、学習全体をふり返って児童自らが大切だと感じたことを明文化する場面(ふりかえろう)を設け、さらにそれを活用する活動(やってみよう)を例示しています。教科書全体で児童が学び続けるための視座を提示し、学びに向かう力・人間性等が涵養できるようにしています。

●QRコンテンツでも創造性を育みます

具体物の操作では時間のかかる「四角形のしきつめ」(Up.80~81, 83)では、いろいろな考えを何度でも簡単に試し、児童が創造的に取り組むことができるシミュレーションのQRコンテンツを用意しています。

児童の創造性を一層育める特設単元
「算数の自由研究」(Up.98~99)
「わくわくプログラミング」(Dp.104~105)

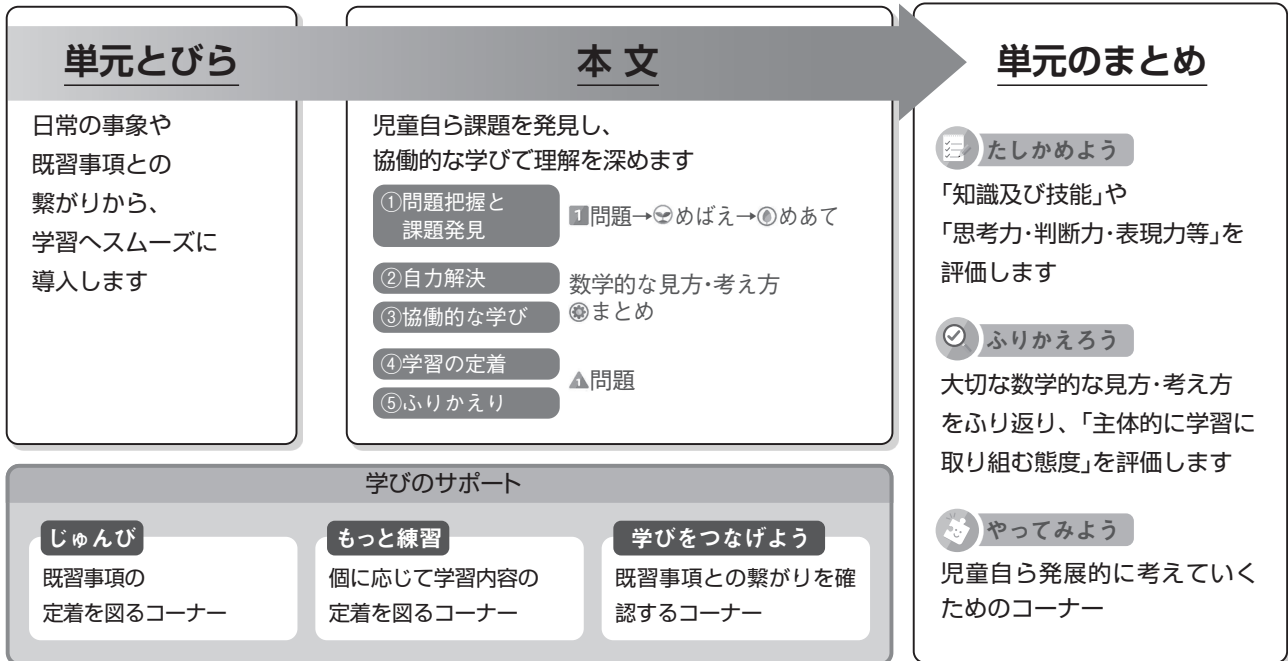


四角形のしきつめ

1 形も大きさも同じ平行四辺形をしきつめて、もようをつくってみましょう。

>>> Up.80 (四角形のしきつめ)

単元の流れ



主たる問題として掲載した①マークのすべての問題で、その解説動画を視聴することが可能です。



2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 ●もくじ ●教科書の使い方 ●学習の進め方	▶『もくじ』や『学びをつなげよう』では既習事項との繋がりを示しています。また、『教科書の使い方』や『学習の進め方』では、 主体的に取り組み、理解を確かなものにする態度が養える ようにしています。(第1号)	上表紙裏-p.9、158-159 下表紙裏-p.1、130-131
単元 ●単元とびら	▶学習の導入で日常の事象を取り上げたり、学習したことを生活で活用する場面を設けたりして、 生活と関連づけて学習に取り組める ようにしています。(第2号)	Up.36、63 Tp.18、58 など
単元 ●本文	▶課題発見となる吹き出しに『めばえ』マークをつけ、問題解決の過程に自分で考える場面や自分の考えを発表する場面を位置づけることで、 児童自らが課題を発見し、真理を求める態度が養える ようにしています。(第1号)	全体
	▶問題解決の過程に話しあいの場面を位置づけ、 協働的に学びを深めていける ようにするとともに、自他の敬愛と協力を重んじられるよう、性別や国籍等による役割を固定せず、 一人ひとりが自他を尊重し、互いに協力して学ぶことができる ようにしています。(第3号)	全体
	▶学習内容に関連する日常の事象を適宜取り上げ、 幅広い知識と教養が身につけられる ようにしています。(第1号)	Up.22、59、73、 Tp.14-15 など
	▶お店や空港、橋に関する題材を取り上げ、 職業との関連に気づき、勤労を重んずる態度や社会の形成に参画する態度が養える ようにしています。(第2・3号)	Up.94、102、116、 Tp.32、52-53 など
	▶公園の清掃活動や『わくわくSDGs』の学習を通して、 環境の保全に寄与する態度が養える ようにしています。(第4号)	Up.96、 Tp.106-109
▶世界の国々の人口や、塵劫記の話題を取り上げ、 我が国の伝統と文化や他国を尊重する態度が養える ようにしています。(第5号)	Up.10、14	
●単元のまとめ	▶児童の興味・関心に応じたふり返りと発展課題を通して、 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性が培える ようにしています。(第2号)	Up.47、83 Tp.17、67 など
巻末 ●学びのサポート	▶巻末には 自らの学習を調整しながら学べるコーナーを設け、自主及び自律の精神を養える ようにしています。(第2号)	Up.141-160、 Tp.115-132

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ユニバーサルデザインへの取り組み

- デザインにおいては、個人差を問わず、必要な情報が正確に伝わるように配慮しています。
- 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず学びやすいものとなるようにMUD協会の検証を受けています。

特別支援教育への配慮

- 文章の改行をすべて文節で行うことで、読みやすくしています。
- 特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(共育)に配慮しています。

道徳教育との関連、人権・ジェンダー・福祉への配慮

- 話しあいを通して学びを深めていく場面を設けるとともに、**他者の考えを尊重したり、他者の考えを踏まえて自分の考えを見直したりすることができる**ように配慮しています。
- 子どもの写真やイラストにおいては、**性別や国籍などによって役割を固定しない、服の色といった固定的なイメージで性別を区別しない**など、性別・人種などに配慮し、互いに協力しながら活動できるようにしています。

ご指導経験の浅い先生への配慮

- 『めあて』と『まとめ』を掲載して学習のねらいや展開をわかりやすく示すとともに、「**数学的な見方・考え方**」を明確化し、価値づけるポイントがはっきりとわかるようにしています。
- 教師用指導書を発刊し、日々の教材準備や個別的な指導を行いやすくするなど、よりよい授業を効率的に行っていくための支援をします。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-145	小学校	算数科	算数	4年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
61 啓林館	算数 420 算数 421	わくわく 算数4上 わくわく 算数4下		

1 編修上特に意を用いた点や特色

数学的な見方・考え方を価値づけ、 主体的・対話的で深い学びを実現する

「数学的な見方・考え方」は、問題把握から解決までのすべてのプロセスにおいて児童の内面で働くものと考えられます。授業においては、児童が何に着目し、どのように考えているかという「数学的な見方・考え方」を価値づけることによって「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すことが大切です。

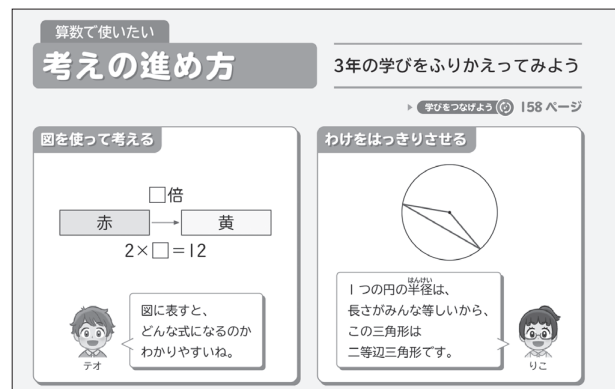
① 前学年で働かせた「数学的な見方・考え方」を整理し、確認できるようにしています

巻頭「考えの進め方」では、前学年で取り組んだ問題解決のプロセスに照らして「数学的な見方・考え方」を整理して掲載しています。

本学年においても、既習事項との繋がりをもとにして「数学的な見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしています。



巻末には、これまでに学習したことをいつでも確認できるコーナー「学びをつなげよう」があります。これまでの学習と本学年の学習の繋がりも示しています。



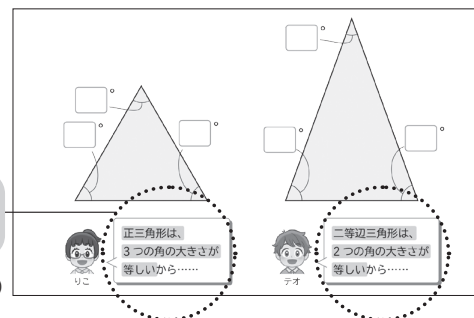
>>> 上p.9「考えの進め方」

② 「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけられるようにしています

既習事項をもとに児童自ら「問いや気づき」を持ち、主体的に学習を進めていけるようにするとともに、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子にはマーカーを付して強調しています。

図形の性質をもとにした
数学的な見方・考え方

>>> 上p.55(角の大きさ)



③ 「数学的な見方・考え方」を児童自ら価値づけ、いかしていけるようにしています

単元の出口では、単元全体を通して児童1人ひとりが大切だと感じた「数学的な見方・考え方」をふり返る場面(ふりかえろう)と、さらにそれをいかして取り組む場面(やってみよう)を設定しています。

観点別特色

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教育基本法及び学習指導要領の遵守	▶教育基本法第二条「教育の目標」を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶教育基本法第四条「教育の機会均等」の通り、すべての児童がひとしく教育を受ける機会が得られるよう、書体や配色、レイアウトにユニバーサルデザインを取り入れ、また、解説動画を含む多数のQRコンテンツを用意しています。	全体
	▶数学的活動に児童1人ひとりが主体的に取り組めるよう、また、協力して取り組む活動や考えを伝えあう活動を通して協働的に学習を進められるよう、児童の発言や活動の様子を数多く例示しています。	全体
主体的・対話的で深い学び	▶児童自らの「問いや気づき」を『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出せるよう展開しています。また、児童らの考えや発言を例示し、伝えあう活動を通して『まとめ』が生まれるよう展開しています。	全体
	▶学習を積み重ねることによって学びが一層深まるよう、学びのつながりを重視し、軸となる「数学的な見方・考え方」にマーカーを付して強調しています。	全体
数学的な見方・考え方	▶巻頭「考えの進め方」で前学年の学習における「数学的な見方・考え方」を整理して、本学年の学習にいかすことができるようにしています。	上p.9 下p.1
	▶単元の入口で既習事項に触れ『これから学習することのめあて』を例示することで、統合的・発展的に考えを進めていけるようにしています。	上p.10、84、 下p.32 など
	▶単元末の『ふりかえろう』で単元全体をふり返り、大切だと思ったことを明文化することで「数学的な見方・考え方」を児童自らが価値づけることができるようにしています。	上p.22、95、 下p.17、51 など
知識及び技能の習得	▶各単元に『じゅんび』を設定し既習事項を確認できるようにすることで、新たな学習の基礎的な知識・技能がスムーズに習得できるようにしています。	上p.142-143、 下p.116-117
	▶各種学力調査や先生方のお声を踏まえ、児童がつまずきやすいとされる内容には、どこで間違えたかがわかる解説スライドやくり返し学習ができる練習問題などのQRコンテンツを用意しています。	上p.44、93、 下p.35、40 など
	▶『ふく習』や『練習』のコーナーを適切に設けて、確かな理解の定着が図れるようにしています。	上p.48、112、 下p.47、56-57 など
思考力・判断力・表現力等の育成	▶対話的な学びの中で、わかったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を適宜例示し、思考力や表現力が育めるようにしています。	上p.5-7、 下p.8-9、33 など
	▶既習事項をいかす場面では、見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする様子を例示し、思考力や判断力が育めるようにしています。	上p.16-17、58-59、 下p.36、40 など
	▶思考力・判断力・表現力等を日常生活にいかし一層伸ばしていくことができるよう、『学びをいかそう』のコーナーを適宜設けています。	上p.96-97、 下p.12、64-65 など
学びに向かう力・人間性等の涵養	▶児童が興味・関心を持って学習に向かうことができるよう、身のまわりの事柄や既習事項から算数の学習へと入っていけるようにしています。	上p.10、49 下p.32、58 など
	▶単元末の『やってみよう』では、児童が大切だと思ったことを生かす活動を例示し、学んだことを生かそうとする態度を育めるようにしています。	上p.22、47、 下p.17、51 など
	▶『学びをいかそう』では、日常の場面で算数を活用する課題を取り上げ、算数の有用性を感じ学び続けようとする態度を育めるようにしています。	上p.96-97、 下p.12、64-65 など
評価	▶単元末の『たしかめよう』を、知識・技能や思考力・表現力・判断力の評価に繋がられるよう構成しています。	上p.21、35、 下p.16、50 など
	▶単元末の『ふりかえろう』『やってみよう』を、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋がられるよう構成しています。	上p.22、47、 下p.17、51 など
内容、配列、分量	▶学びの繋がりを重視したスパイラルの構成で学びやすくしています。	全体
	▶年間配当時数は160時間とし、標準時数(175時間)よりも余裕を持たせた分量で構成しています。	全体

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
学習方法・展開の工夫	▶『めばえ』から『めあて』、そして、『まとめ』へと続く展開で、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう構成しています。なお、『めあて』と『まとめ』はほぼすべての時間で例示しています。	Up.4-7、25-26、 Tp.21、24-25 など
	▶児童の発達段階に配慮して上下分冊の形態をとり、学力の保障・向上となるよう下巻末の『学びをつなげよう』で上巻の内容がふり返られるようにしています。	全体
1人1台端末環境への対応	▶問題解決にICTを活用できるよう、シミュレーションのQRコンテンツを用意しています。「四角形のしきつめ」では、具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにしています。	Up.29、50、80、 Tp.8、90 など
	▶『わくわくプログラミング』では、プログラミング体験を通して関数的な見方・考え方の素地を育むことができますようにしています。プログラミング的思考としては、順次処理、反復処理を学ぶことができます。	Tp.104-105
	▶児童の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書(有料)を発刊します。	全体
個別最適な学びへの配慮	▶動画やフラッシュ問題などのQRコンテンツを数多く用意し、児童1人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できるよう配慮しています。	Up.29、43、 Tp.35、41 など
	▶自学で取り組めるフラッシュ問題のQRコンテンツは、児童が必要と感じたときに解決のヒントを確認できるようにしています。	Up.21、44、 Tp.56-57 など
	▶巻末の『もっと練習』では、基本問題と挑戦問題を掲載し、個に応じた学び(習熟度別学習)に対応できるようにしています。	Up.144-155、 Tp.118-127
協働的な学びへの配慮	▶児童1人ひとりの「問いや気づき」を共有するとともに、みんなと一緒に考えて協働的に学習を進めていくことができるようにしています。	全体
	▶多様な考え方を取り上げた場面では、考えを伝えあう活動の中で「数学的な見方・考え方」を働かせて深めていくことができるようにしています。	Up.4-7、 Tp.8-9、24 など
学びのつながり	▶学びのつながりを感じながら進められるよう、巻頭の『もくじ』や巻末の『学びをつなげよう』で、既習事項学習との繋がりを示しています。	上下もくじ Up.158-159 など
	▶5年生以降の学習を見据えて、「割合」や「データの活用」の系統に位置づく内容を丁寧に展開しています。	Up.23-35、128-135、 Tp.48-49、58-69
他教科との関連(カリキュラム・マネジメント)	▶理科との関連として、観察や実験などに関する技能の習得に配慮し、「折れ線グラフ」の学習時期を早めに設定し、グラフのかき方やグラフを使った考察の仕方を丁寧に扱っています。	Up.23-35
	▶社会科との関連として、様々な資料や調査による情報を適切にまとめる技能の習得に配慮し、人口や面積などの資料を取り上げています。	Up.10、 Tp.19、23 など
	▶道徳科との関連として、自分と異なる意見や立場を尊重することなどに配慮し、互いに協力しながら活動できるようにしています。	Up.4-7、 Tp.12 など
持続可能な開発目標(SDGs)、環境教育	▶公園の清掃活動の場面を取り上げたり、ゴミを減らすために自分たちにできることを考える『わくわくSDGs』のコーナーを設けたりして、環境の保全、福祉や社会形成に寄与する態度が育めるよう配慮しています。	Up.96、 Tp.106-109 など
	▶学校のけが調べを通して安全の意識を持てるよう配慮しています。	Tp.58-65
衛生、感染症対策	▶教科書制作において感染症対策を徹底するとともに、教科書ご利用の際の留意点を巻頭に掲載しています。	上下もくじ
臨時休校等への配慮、学校外での学習活動	▶主たる問題(1の問題)のすべてに解説動画を用意し、臨時休校等においても学びが途絶えることのないよう配慮しています。	全体
	▶既習事項の定着や確認を図るQRコンテンツを配し、学校外での学習活動においてもヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるよう配慮しています。	Up.21、44、 Tp.56-57 など
用紙、印刷、製本	▶用紙には、軽くて印刷が鮮やかな再生紙を採用しています。印刷には、植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しています。	全体
	▶製本は、開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいことに配慮し、「あじろ綴じ」製本を採用しています。	全体
	▶学習において操作活動が有効な場面で、教材準備に時間や特別な配慮を要するものには、巻末に切り取り教具を用意しています。	Up.161、分度器

2 対照表

	単元名	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	配当月	
4 上	★算数のとびら	A(3) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(2)(3)	p.4-9	1	4月	
	①一億をこえる数	A(1) ア(ア) イ(ア) 内(1)	p.10-22	8		
	②折れ線グラフ	C(1) ア(ア) イ(ア) D(1) ア(イ) イ(ア) 内(10)	p.23-35	7	5月	
	③1けたでわるわり算の筆算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内(2)	p.36-47	9		
	・ふく習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.48	1		
	④角とその大きさ	B(5) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.49-62	8	6月	
	⑤垂直・平行と四角形	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(7)	p.63-83	13		
	⑥小数	A(4) ア(イ)(ウ) イ(ア)	p.84-95	9	7月	
	●見積もりを使って	第3-2-(5) (およその大きさに基づく判断)	p.96-97	1		
	●算数の自由研究	第3-3-(2) (数学的活動を楽しむ機会)	p.98-99	1		
	・ふく習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.100-101	1		
	⑦2けたでわるわり算の筆算	A(3) ア(ア)(イ)(エ) イ(ア) 内(2)(4)	p.102-115	11	9月	
	⑧式と計算の順じよ	A(6) ア(ア) イ(ア) A(7) ア(ア) イ(ア) 内(6)	p.116-127	8		
	⑨割合	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.128-135	5	10月	
	●そろばん	A(8) ア(ア) イ(ア)	p.136-137	1		
	・ふく習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.138-140	1		
	★学びのサポート	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.141-164	—		
	4 下	⑩面積	A(6) ア(イ) イ(ア) B(4) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(8)	p.2-17	10	11月
		⑪がい数とその計算	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内(2)	p.18-29	9	
●見方・考え方を深めよう		A(6) ア(ア) イ(ア) A(7) ア(ア) イ(ア)	p.30-31	2		
⑫小数のかけ算とわり算		A(4) ア(ア)(エ) イ(ア) 内(5)	p.32-51	16	12月	
●どんな計算になるのかな		A(3) ア(イ) イ(ア) 内(2)(3)	p.52-53	1		
●だれでしょう		第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.54-55	1		
・ふく習		第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.56-57	1		
⑬調べ方と整理のしかた		D(1) ア(ア) イ(ア) 内(9)	p.58-67	4	1月	
●見方・考え方を深めよう		D(1) ア(ア) イ(ア) 内(9)	p.68-69	1		
⑭分数		A(5) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.70-79	7		
・ふく習		第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.80-81	1	2月	
⑮変わり方		A(6) ア(ウ) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.82-88	6		
⑯直方体と立方体		B(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) B(3) ア(ア) イ(ア)	p.89-103	11	3月	
●わくわくプログラミング		C(1) イ(ア) 第3-2-(2) (プログラミング体験)	p.104-105	1		
●わくわくSDGs		A(2) ア(ウ) イ(ア) D(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.106-109	1		
・もうすぐ5年生		第3-1-(2) (次学年への円滑な接続)	p.110-114	3	—	
★学びのサポート		第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.115-132	—		
				配当時数	160	
				予備時数	15	

記号の意味

●…活用・問題解決のページ、★…特設ページ、内…内容の取扱い、第3…指導計画の作成と内容の取扱い

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-145	小学校	算数科	算数	4年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 420 算数 421	わくわく 算数4上 わくわく 算数4下		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上22	学びをいかそう やってみよう	2	A(1)ア(ア) (一億をこえる数の学習に関連して、兆より大きな数の位を簡単に扱います。)	0.75
上59	算数ポケット 回転した大きさの 表し方	1	B(5)ア(イ) (角の大きさを測定する学習に関連して、360°より大きな角の大きさを簡単に扱います。)	0.25
下98	算数ポケット 直方体や立方体を 表す図	1	B(2)ア(ウ) (直方体や立方体の見取図の学習に関連して、立体を平面に表す方法として立面図や投影図を簡単に扱います。)	0.5
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容